



## 特集

## 伝えたいまちの宝

—ボランティアグループ「生地あいの会」—

今月の特集では、地元を愛する熱い思いを込めた活動をしておられた生地地区のボランティアグループの取材を通じて、地域で受け継がれる名所や味わいなどをについてご紹介いたします。



## 生地をにぎやかにしたい

「どうぞ、入って！」前名寺（ぜんみょうじ）天満宮で中山文彰（ぶんしょう）住職共々、生地あいの会の今浜保会長が気さくに出迎えてくださいました。

1589年に建立された前名寺（当時は善名寺）には、天神様や学問の神といわれる菅原道真公ご父子が筆入れされたと伝えられる寺宝の「日月（にちげつ）天神軸」と「天神像」が奉られ「地域の方々が拠り所にされておられます」と中山住職が紹介してくださいました。

お邪魔したのは年越し準備のために会員の方々が集まっておられた昨年末。干支のひつじが描かれたジャンボ絵馬を見やすいように天井近くへ設置したり、机に白布をかけてお守りやおみくじをきれいに並べたりと、皆さん手だけでも

干支が描かれたジャンボ絵馬を飾る今浜会長

地元の水墨画家  
川端豊次さんによる絵馬の原画人の巡り合わせが  
人を呼び込む

おもてなしには気軽に立ち寄つて一息つける場所があればいいということで、大町に店を開いたのが平成19年。「初めはコミュニティセンターで名水力フェを開いていたんやけど、まちなかにあつた方がいいんじゃないか」という意見があつて。今は休み処『あい』という名称で3月終わり頃から11月末まで毎週土曜日に開いています。手作りの『水だんご』や『どんどん焼き』など生地の美味しいものを食べに多くの方々に訪れていただいている」と今浜会長。

たいまつ祭りの子ども祭囃子の手伝つていきました。「あいの会の年生の女の子は「ドキドキします」と言いながら、この日の準備も尽力いただき大変感謝しています」と話される中山住職。



うにしみじみ語られました。「人の出会いが良かつたかもわからんね。公民館の職員さんとか婦人会長とか小学校「こども園、PTA、体育協会、同級生も含めて、周りの人に恵まれているなあと思いますね。人に助けられて、人と一緒にやつて。人の巡り合わせやねえ、やっぱり。自分はいつもそぞう思つとるん」

「地域の皆さんの協力を得て、やらせてもらつてます」と話される今浜会長からは感謝の気持ちと優しい人柄がにじみ出していました。

前名寺天満宮での年越し準備は  
毎年恒例行事です

**pick up!**

笑顔があふれる研修会になりました!

教えて！ボランティアの醍醐味  
～みんなで創る地域のあり方～

地域リーダー養成研修会を開催しました

活動レポート 1

1月15日（木）黒部市国際文化センター・コラーレ（マルチホール）にて、地域リーダー養成研修会を開催しました。

この研修会は、地域づくりの手法や考え方を学ぶとともにボランティア活動による地域づくりの楽しさを知つていただくことを目的としています。

はじめに、認定NPO法人日本NPOセンター常務理事の田尻佳史氏をお招きして「教えて！ボランティアの醍醐味～みんなで創る地域のあり方～」と題して講義をいただきました。ボランティア・市民活動を地域づくりに活かすことが必要であり、ボランティアの醍醐味であるとお話いただきました。

その後、YKK・YKKAP労働組合ボランティア担当の飛島和浩氏、大布施地区ボランティア部会長の新村恵子氏に各団体の取り組みについて発表していただき、ボランティア活動の魅力を再認識しながら今後の取り組みについて考えていきました。

**写真+レポート 2**

カンナロードの冬支度をしました

11月23日(日)ー前沢公民館 近辺

250名の参加者と一緒に花が咲き終わったカンナの球根を掘り起こし、いも穴へ貯蔵しました。

**写真+レポート 1**

年越しまつりで楽しい年末に

12月20日(土)ー黒部市福祉センター

1年間のご来場に感謝を込めて輪投げやもぐらたたきなどのゲームなどで楽しみ、大抽選会と飴まきで締めくくりました。



活動を楽しむ皆さん

「生地に生まれて、生地に育つてるので、生地が大好きなんですね！」と話されるのは、生地を愛する会「生地あいの会」の名付け親である浜松佐知子副会長。「ボランティアっていうには、おこがましい感じなんですね。そんなに活動してるのかなって思つて。生地を盛り上げようという活動に携わっていることが私は楽しんでいます。職業もバラバラ、年齢差もある。そんな色んな人と関わり、こういう集まりもあるってことが自分のストレス解消かもしれないですね」

イベントでは生地の味をアピールするため大きな声でお客さんを

### 楽しいから続けられる

呼び込んだり、最近では生地に來てキヨロキヨロと道に迷つている

ような人がいたら声を掛け、自家用車の後について来て、と道案内することも。「知らない人に自分から声を掛けるなんて、あいの会の活動をしていかなかつたら出来なかつたかもしれません。13年前と今では私も変わったと思います」と、一緒に活動する仲間や活動によって出会う人々から影響を受け、「自身が変化することを楽しんでおられました。

と人、地域の絆が強められていくのだと思います。

黒部市社会福祉協議会が目指す「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」のためには、「このように住民が主体となり自分たちのまちを自分たちで良くしていく活動を知り、学び、本会の活動につなげていければと考えています。

「生地あいの会」は、いまや生地になくなつてはならない地域のボランティアグループのひとつです。会員の方々からお話をお聞きすると、活動することの楽しさと人ととのつながりの中に喜びがあるように感じました。ここにボランティア活動の原動力があるのかもしれません。

皆さんのが地域にも長い年月をかけて守り続けておられる伝統行事や暮らしに根付いている地域の習慣があるのでないでしょうか。自然に伝わることがある一方、意識を強く持ち、知識や方法、技術を伝え続けることによつて意義や思いも継承され、人

### 伝えることで地域の絆を強める



